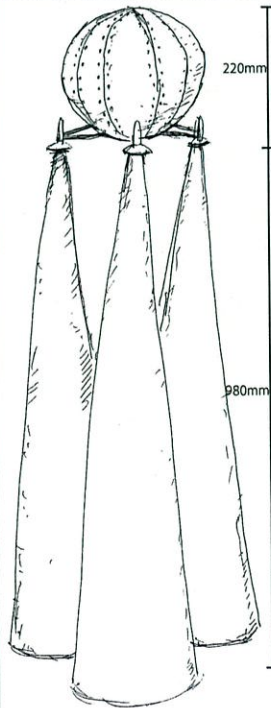


「台座置き」もしくは、「壁付」を選んで、チェックをつけてください

台座置き

壁付

作品設置イメージ

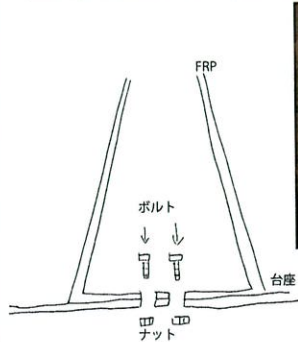


アルミの球は鉄またはアルミを溶接してフレームを作り、
表面にアルミをリベット留めする
塗装はせず、パフをかけた後にウレタンクリアでコーティングする

船体から出る三本のロケットブースターはφ15~20mmのアルミ無垢丸鋼を旋盤で加工して作り、
φ6mmの細い丸鋼を溶接し、内側のフレームと溶接或いはボルト締める

ブースターの炎は粘土原型或いはスタイロフォーム原型をFRPでキャストした後、
研磨・塗装を施しウレタンクリアで仕上げる カラーは発色の良いオレンジかそれに近い
イエローを用いる

台座との接地面はボルトを通しておき、先端を台座に穴を開けて通した後裏からナットで固定する



作品名	sonya	作品NO.	53
素材	アルミ FRP	想定重量	30 kg
サイズ	横幅 415 × 高さ 1200 × 奥行 415 (単位:mm)		
作品コンセプト			
<p>今回作品が設置されるマンションが墨田区にあるということで、マンションの建設予定地の裏に流れる隅田川で毎年行われる花火大会という江戸時代から続くイベントの持つ墨田区の歴史性と、下町の風景が残る中に一際異質な存在として立つスカイツリーの持つ未確認生命体、或いはUFOのような存在感を融合させることで墨田区の持つ歴史と構築が同居する特性を表そうとしました。アルミをリベットで固定した金属の球はロシアの人工衛星スプートニクを模した形をしていて、宇宙時代に人類が抱いた宇宙への夢を墨田区の空にあがる花火の球のイメージと重ね、また自分がスカイツリーに感じた空へ空へと伸びる下町の持つパワー、成長力のようなイメージを三本のロケットブースターで表現しています。マンションに帰ってくる入居者の方々へ下町のパワーやエネルギーのようなものを感じてもらい、元気になってもらえるような作品になりうると思います。</p>			

【過去の自分の作品】 ※画像や写真等を配置もしくは貼り付けてください

